

2019年7月7日

NO.2001

日本共産党碧南市委員会
碧南市笠山町3-13-10
電話・FAX/42-8706

身边かに役立つ

日本共産党生活相談所

山口はるみ ☎42-8940 FAX 41-9904
岡本 守正 ☎41-5357 FAX 46-1595
磯貝 明彦 ☎・FAX 48-2718

やめさせよう消費税10%

連動して市民負担増：大企業に減税

上下水道料金・市民病院に増税。法人税6%

6月議会の賛否	共産党	公明党	新政会	市民クラブ	令和新風会	みらいクラブ	無会派
法人税9.7を6%に	×	○	○	○	○	○	○
上下水道10%消費税	×	○	○	○	○	○	○
市民病院に10%消費税	×	○	○	○	○	○	○
公的年金の改善を求める請願	○	×	×	×	×	×	×
後期高齢者自己負担2割負担やめての請願	○	×	×	×	○	×	×

請願否決で
市民に背
景
育
保
育
士
處
遇
改
善。
最
賃
制
度。
公
契
約。
8
時
間
労
働。
行
政
情。
年
金
拡
充。
後
期
高
齢
者
自
己
負
担
2
割
反
対
の
2
件
の
陳
述。

日本共産党は最も減収するのに日本共産党以外は、対案もなく賛成。山口はるみ議員が反対討論を行いました。

法人税6%で7億2000万円の減収
法人税は、10月から現行の最低税率9.7%をさらに6%に引き下げ、7億2000万円も減収するのに日本共産党以外は、対案もなく賛成。山口はるみ議員が反対討論を行いました。

安倍内閣の悪政ゾロリ
碧南市6月議会では、水道料金消費税10%をさらに6%に引き下げ、7億2000万円の負担増となる議案が、日本共産党以外の議員の賛成で可決。岡本守正議員が反対討論を行いました。

請願が6月議会に提出されました。
これらすべてを否決した。他会派。日本共産党磯貝明彦議員が2つの請願に賛成討論を行いました。

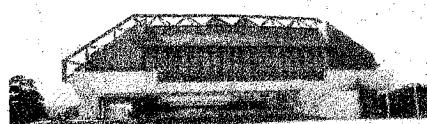
臨海体育館2階アリーナ照明灯のガラスが落下

6月補正予算では、臨海体育館2階アリーナの水銀灯が老朽化によって12月と1月の2回、破損しガラスが降ってくる事故が起こっていました。市は補正予算の審査で日本共産党山口はるみ議員の質問で詳細を公表しました。今後、10年間で5600万円のリースでLEDに更新。10年後は無償譲渡されます。

10年で分割し、年間140万円が予算化されました。

更新対象数

蛍光灯 599灯
水銀灯 318灯
白熱電球 211灯
LED 12灯



地方議会から見える
市民無視の自公政治
安倍内閣を先頭に、庶民の暮らしを顧みない年金削減と2000万円貯金発言。政治の私物化、ウソ、ゴマカシ、アメリカと財界言いなりの政治では、温かい政治は望めません。日本共産党の躍進であつたか政治を

所得段階	区分	対象数	4月から	今まで
第1段階	生保と80万円以下	1,625人	月1,337円	月1,944円
第2段階	80万円超え120万円まで	916人	月2,552円	月3,159円
第3段階	非課税世帯	946人	月3,281円	月3,402円



日本共産党ホームページ「HOPE」より

非課税世帯以下の
介護保険料
ちょつひり引下げ

参議院選挙勝利

日本共産党演説会

7月17日(水) ごご6時~7時

碧南市文化会館3階 大会議室

主催 日本共産党碧南市委員会

衣浦衛生組合議会 予算決算の審査 質問回数3回に制限

	議員名	所属市	回数なし賛否
1	小林 晃三	碧南市議会	×
2	山口 春美	碧南市議会	○ 共 副議長
3	神谷 悟	碧南市議会	×
4	新美 交陽	碧南市議会	○
5	沓名 宏	碧南市議会	×
6	神谷 直子	高浜市議会	×
7	岡田 公作	高浜市議会	×
8	鈴木 勝彦	高浜市議会	議長
9	今原 ゆかり	高浜市議会	× 公
10	内藤 とし子	高浜市議会	○ 共

7月2日衣浦衛生組合議会の臨時議会と全員協議会が開かれました。本期、副議長となつた日本共産党山口はるみ議員は、議会の民主化と、議員発言の自由を求めて、予算決算の審議に、

歳入歳出各3回との制限撤廃を求めました。

H21~小嶋克文議長(公)が独断強行

平成21年5月以前は、組合議会には「申し合わせ事項」はなく質疑の回数制限はありませんでした。ところが、公明党小嶋克文議長は、日本共産党下島良一議員(当時)に質疑が3回を超えたと指摘。12月22日の全協で合意ならず次回に。H23年5月30日合意もないのに、議長が3回で終結。11月28日に、数を頼みに3回強行を承認しました。

発言制限は議会の自殺行為

衣浦衛生組合は碧南市5人、高浜市5人の議員で構成。年に4回の定例議会は10時から12時までの半日で終わっています。

予算決算審査は、ゴミ、斎苑、し尿、サンビレッジなど市民生活に深く関わる業務をチェックし、要望と届けるためには発言の自由が保障されなければなりません。

議決さえすればいいと沓名議員

議長経験者の沓名宏議員は「議員は議決さえすればいい」と暴言。高浜市の岡田公作議員は「企業は効率重視。短い時間で終わるべき」と。神谷直子議員も反対。こうした議員が3回制限を容認。議員の役目を学びなおしてきて!!

3分で紹介 共産党

連載 ②

若者の政治参加 真剣に広げます

(4)



今回の参院選挙は、2016年6月に、国会議員や地方議員を選挙で選ぶ権利=「選挙権」をもつ対象年齢が「20歳以上」から、「18歳以上」に引き下げられてから、2回目の参院選挙です。

日本共産党は1922年の党創立のときから、この「18歳選挙権」の実現を求めてきました。戦後、46年11月の現行憲法の制定・公布に先立つ同年6月に発表した憲法草案では「代議員（国会議員）として選挙され、かつ代議員を選挙する資格は…18歳以上のすべての男女に与えられる」と定めています。

共産党の憲法草案で、注目してほしいのは選挙で議員を選ぶ「選挙権」とともに、選挙に出る権利=「被選挙権」も「18歳以上」に与えるとしている点です。海外で「18歳選挙権」が主流となるなか、日本ではやっと3年前からスタートしましたが、「被選挙権」の方は、いまだに衆院議員は「25歳以上」で、参院議員は「30歳以上」のままであります。いま、多くの学生に、高い学費と奨学金返済の不安が重くのしかかり、働く若者のあいだには、低賃金や雇用破壊、長時間労働、若者を使いつぶすブラック企業やブラックバイトの問題がまん延しています。

共産党は、若者が安心して学び、働く希望ある社会をつくるために、政治や社会の改革に力を尽くしています。その改革の一つとして、若者自身の政治参加の拡大に真剣に取り組んでおり、「被選挙権」の対象年齢の速やかな引き下げなどをめざしています。

共産党の論理 保守論客も注目

(5)



保守主義の立場の論客からも日本共産党に注目が集まっています。中島岳志東京工業大学教授は、自公政権が、戦後日本の民主主義体制をゆがめる親米・新自由主義へと傾斜する中、それに抵抗する

「保守」と日本共産党の立ち位置が限りなく接近していると言います。

中島氏は「安倍政権の政策はどれをとっても保守が共感するものではありません。それに反対している共産党の論理の方が、私のような保守には圧倒的に賛成できます」(2018年9月9日号「赤旗」日曜版)と話しています。

国会で議論を尽くさず、繰り返し行う強行採決、集団的自衛権をめぐる憲法解釈の勝手な変更、安保法制の強行…。憲法に基づいて政治を行うという立憲主義の原則を破壊する安倍政権に、保守の人たちの中からも批判の声があがっています。

日本共産党は民主主義的変革は多くの人たちとの団結によって成し遂げられると考えています。そのため、たとえ思想信条の違う相手であっても、さしあたって共同できる一致点があれば合意づくりに努め、手をつなぎました。辺野古の新基地問題をめぐるオール沖縄のたたかいや、国政や地方政治をめぐる市民と野党の共闘でも、その発展に誠実に努力しています。憲法や立憲主義を守る立場を鮮明にし、安倍政治のゆがみの根本にメスを入れ、改革する展望を示す日本共産党だからこそ、まっとうな保守の人にも共感をもって受け入れられているのです。

二つのゆがみをただす党大きく

(6)



特等席での大相撲観戦や米国産牛肉を使ったハンバーガーの昼食…。5月末に行われた日米首脳会談のために訪日したトランプ米大統領への安倍首相の「おもてなし」にあきれはてた人も多いのではないでしょうか。ひたすらこびへつらう首相の姿は、いかに日本の政治が「アメリカ言いなり」であるかを見せつけました。メディアも「対米追従」(5月28日付「朝日」社説)などと指摘しました。

「言いなり」という点では、安倍政権の「財界の利益中心」も際立っています。安倍政権は法人税減税などで大企業の利益拡大に貢献し、同政権下で大企業の内部留保は122兆円も増えて442兆円、株高で富裕層は大もうけです。一方で、景気に悪影響を及ぼすことがわかっているのに、さらなる消費税増税で国民に負担を押し付けようとしています。これには、前日銀副総裁や元内閣官房参与も反対を申し入れています。日本共産党は、この異常な二つの政治のゆがみ—「アメリカ言いなり」(対米従属)と「財界の利益中心」(大企業・財界の横暴な支配)をただす民主的改革のプログラムをもっています。

例えば、大企業に減税をばらまく政治ではなく、大企業・富裕層から応分の負担を求めて社会保障の財源を生み出す「消費税に頼らない別の道」を進む政治です。米軍新基地建設のために沖縄の美しい海を埋め立てるのはなくて、新基地建設中止をアメリカに求めていく政治です。アメリカと財界のための政治ではなく、大多数の国民のための政治へ。一緒に政治を変えていきましょう。

日本共産党碧南市議団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718

三度山町2-70-4 笹山町6-29 若松町3-253

気軽にご意見ご要望を

申し込みは碧南市議団へ

◆毎週土曜日午前11時～午後6時
日本共産党西三河地区委員会事務所

弁護士による無料法律相談

7月19日行動
午前11時～午後6時
スーパー・ヤマナカ前